

エコのわスタイル まちの木を守り、育てる～樹木医の仕事～

エコのわスタイルは、環境をテーマに区民や区内の企業、団体の活動や想いなどを紹介します。



東邦レオ株式会社
一級造園施工管理技士 樹木医
川口 侑宏さん

樹木医とは、樹木の診断・治療、保護・育成・管理などを行う専門家です。豊島区内の会社で、資格を取得し樹木医として活躍する川口侑宏さんにお話を伺いました。「神奈川県小田原市近郊の森林に囲まれた町で育ち、中学生の時にみどりに関わる仕事がしたいと思い、大学は農学部農学科に進学。当時アルバイトをしていた今の会社で樹木医の仕事に出会いました」

現在川口さんが担当しているのは、マンション・団地内の樹木や草花の管理業務。樹木の健康管理はもちろんのこと、住民の方にも樹木に関心や愛着をもってもらうため、生育状況や、簡単にできる手入れ方法をわかりやすく伝えています。

「都会の木は森の木と違い、敷地や陽光の制限、排気ガスの影響など人の暮らしに合わせたきびしい環境に置かれています。また近年、戦後に植えられた木が年を取り、人の手が今まで以上必要になっています」

仕事道具の中に、大きな木づちがありました。樹木の診断をする際に木づちで幹をたたき、音を聞くとのこと。「健康な樹木は水を含んだこもった音がしますが、枯れ始めている木は軽い響きわたる音がします。このような軽い音がする木は枯れて倒木する可能性もあり、まちの中にある樹木では特に注意が必要になります」

豊島区はソメイヨシノ発祥の地。会社最寄り駅の一つ手前、巣鴨駅で降り、線路沿いの桜並木を歩くのが春の楽しみだという川口さん。私たちの暮らしにまちの木が彩りを添えてくれるのも、木を守り、育てる人がいるからこそですね。



川口さんが担当しているマンション「ザ・タワーレジデンス大塚」の植栽。



中央T字の金属棒は、「鋼棒（こうぼう）」といい、地中の根や幹に刺して腐植の状態を調べるために使います。



目で樹木の概略的な症状を確認し、必要に応じて木づちで幹を叩いて状態を確認します。

トピックス

「界わい緑化」による緑化へ助成します ～豊島区界わい緑化助成～

同じ通りにある3軒以上の方が集まり、それぞれのお宅（事業所を含む）で接道部分に緑化をすると、経費の5分の3（消費税は除く・上限15万円）※を助成します。施工前の申請が必要です。下記の、豊島区環境清掃部環境政策課までご相談ください。豊島区のホームページでも詳細やお申込み方法が確認できます。

HP

緑でつながるまちづくり <http://www.city.toshima.lg.jp/149/machizukuri/shizen/ryokuka/019601.html>

※平成28年2月現在の助成内容です。助成内容は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

豊島区界わい緑化推進事業

かいわい緑化

◆ご意見・ご感想・エコ情報をお待ちしております◆

はがき、メール、FAXのいずれかで、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・アンケートの答えの他「ご意見・ご感想、エコのわで取り上げて欲しい人や場所、企業、エコに関する情報」などを明記の上環境政策課までお寄せください。「エコのわ17号」の記事に関するお問い合わせもこちらまで。

宛先：豊島区環境清掃部環境政策課
住所：〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
FAX：03-3980-5134
メール：A0029180@city.toshima.lg.jp

★アンケート：「エコのわ17号」でよかった記事を教えてください。（いずれか1つ）

①表紙 ②都市で生きる人と木の結びつき ③としまグリーンウェイブ ④界わい緑化でつながるみどりの“わ” ⑤エコのわブック ⑥エコのわスタイル ⑦トピックス

「エコのわ」第17号 平成28年3月7日発行

発行：豊島区環境清掃部環境政策課 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
電話：03-3981-2771（直通） FAX：03-3980-5134
メール：A0029180@city.toshima.lg.jp
制作協力：アオイ環境株式会社



第17号は「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の助成事業です。

